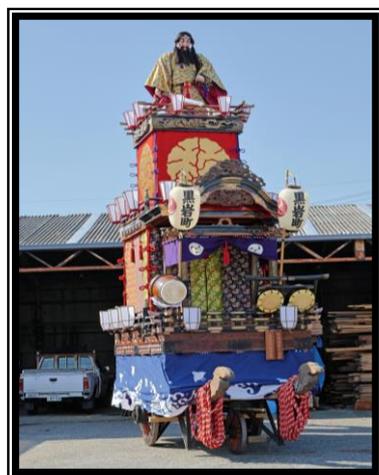


令和5年度越生町教育委員会 事務局点検評価報告書

[対象：令和4年度の教育行政施策]

～越生町教育振興基本計画の達成に向けて～



【 黒岩町 】



【 上町 】



【 新宿町 】



【 仲町 】



【 河原町 】



【 本町 】

(文化庁の「地域文化財総合活用推進事業」を活用して改修された、町内の山車)

越生町教育委員会

令和5年8月

も く じ

	頁
1 はじめに	2
2 点検評価の対象及び方法	2
3 『越生町教育振興基本計画』の基本目標と重点施策	3
4 点検評価調書	4
I 学校教育の充実	4
(1) 確かな学力と自立する力の育成	4
(2) 豊かな情操と健やかな心身の育成	7
(3) 学習環境の整備・充実	10
(4) 教職員の指導力向上	12
II 家庭・地域の教育力の向上	14
(1) 学校運営協議会制度の導入	14
(2) 越生町「3つのあ」の推進	15
(3) 学校応援団活動の推進	17
(4) 家庭教育支援体制の充実	19
(5) 児童生徒の安心・安全の確保	21
III 生涯学習の推進	23
(1) 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進	23
(2) 越生が誇る歴史文化の継承と活用	25
(3) 生涯学習施設の環境整備	27
5 教育委員会会議等の活動状況	
6 (参考資料) 令和4年度「家庭生活・家庭学習・3つのあ」に についてのアンケート集計	

1 はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と規定されていることから作成をいたしました。

越生町では、教育基本法第17条第2項に基づき『教育振興基本計画』を策定し、平成31年度から令和5年度までの5年間における教育の方向性を示しました。この自己点検評価の項目は、『越生町教育振興基本計画』の達成に向けて実施している各種事業の成果と課題について、令和4年度の越生町教育委員会の事業等にかかる点検及び評価をまとめたものです。

2 点検評価の対象及び方法

『越生町教育振興基本計画』（以下「基本計画」）の具現化に向けて、毎年度、重点施策を策定し、その取組状況を点検評価しました。

点検評価は、以下のように点検評価調書としてまとめました。

基本目標	(基本計画の3つの基本目標)	総合評価
重点施策	(基本目標を達成するための重点施策)	S・A・B・C
重点施策の主な視点	(基本計画に記載されている取組の視点)	
重点施策の内容	(年度において特に重点的に推進する具体的取組)	
指標と実績	(成果と課題の元となる指標と実績)	
成果の概要	(成果の概要の文章記述)	
課題	(課題についての文章記述)	
意見・提言	(学識経験者からの意見・提言)	

点検評価調書のうち、総合評価は「S・A・B・C」とし、区分の目安として

S：期待以上の成果を上げた

A：期待通りの成果を上げた

B：期待通りの成果を上げていない

C：実施していない

としました。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づく、有識者の活用については、以下の学識経験者2名から御意見などをいただきました。

伊藤 明 氏	元公立小学校長、元川越市教育長
酒本 希朱 氏	元公立小学校長

3 『越生町教育振興基本計画』の基本目標と重点施策

【学校教育の充実】

- 確かな学力と自立する力の育成
- 豊かな情操と健やかな心身の育成
- 学習環境の整備・充実
- 教職員の指導力向上

【家庭・地域の教育力の向上】

- 学校運営協議会制度の導入
- 越生町「3つの⑥」の推進
- 学校応援団活動の推進
- 家庭教育支援体制の充実
- 児童生徒の安心・安全の確保

【生涯学習の推進】

- 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進
- 越生が誇る歴史文化の継承と活用
- 生涯学習施設の環境整備

4 点検評価調書

I 学校教育の充実

(1) 確かな学力と自立する力の育成

基本目標	I 学校教育の充実		総合評価
重点施策	(1) 確かな学力と自立する力の育成		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個に応じたきめ細やかな指導 ○ 幼保・小・中のなめらかな接続 ○ 家庭生活・家庭学習の充実 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町費学習支援員の配置や町独自の35人学級を生かし、学習室等を活用してティーム・ティーチングや少人数指導によるきめ細やかな指導を展開する。 ・ 2学期制と土曜授業日の特色を最大限に生かして授業時間数を十分に確保し、学習指導要領に示された主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を推進する。 ・ 外国語活動や外国語（英語）の学習において、各校常駐のALTを活用したり、英語検定の受検など具体的な目標をもたせたりすることで、意欲的に取り組めるように指導する。 ・ 児童生徒1人1台に配備したパソコンなどのICTを活用した多様な授業を展開し、学習内容の定着と学習意欲の向上を図る。また、休校等による学習の著しい遅れが生じないように、オンラインでの授業の準備を整える。 ・ 受け手の状況などを踏まえた発信・伝達など情報活用の実践力を育成し、人前で堂々とわかりやすく自分の意見を発表できるように様々な機会を設け、指導の充実を図る。 ・ 越生小学校と梅園小学校との合同行事や合同授業の取組を行い、お互いのよさを生かした小小連携を一層推進し、義務教育9年間の一貫した教育を推進する。 ・ 「家庭生活・家庭学習のすすめ」、「より良い学習の進め方」リーフレットや夏休み前の学習成績表などの活用をすすめ、家庭学習の習慣化を強化する。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	町費の学習支援員等の配置数	小学校：7名 ※ 前年度8名 中学校：4名 ※ 前年度5名	
	英検の英検受験者等	受験者数：247名 ※ 前年度245名 (小：31名、中：216名) 中3の3級以上の取得率：58.9% ※ 前年度54.5%	
	小小連携に関わる授業の実施状況	1年…生活科での合同授業 2年…生活科・外国語活動での合同授業 3年…総合的な学習の時間「梅もぎ体験」 4年…学級活動・外国語活動での合同授業 5年…宿泊学習、社会科見学での活動 6年…修学旅行、社会科見学での活動	

	<p>リーフレットで示す<u>家庭学習時間</u>の目安について、「いつもしている」＋「だいたいしている」の割合</p> <p>※ 家庭学習時間の目安</p> <p>小1・・・15分、小2・・・20分 小3・・・30分、小4・・・40分 小5・・・50分、小6・・・60分 中1・・・60分、中2・・・90分 中3・・・120分</p>	<p>小1・・・96.3%、小2・・・98.0% 小3・・・87.8%、小4・・・80.6% 小5・・・64.9%、小6・・・78.0% 中1・・・72.2%、中2・・・59.1% 中3・・・73.7%、全体 79.0%</p> <p>※ 前年度</p> <p>小1・・・94.1%、小2・・・77.7% 小3・・・92.6%、小4・・・88.1% 小5・・・79.4%、小6・・・58.2% 中1・・・70.3%、中2・・・66.6% 中3・・・91.7%、全体 80.0%</p>
<p>成果の概要</p>	<p>○ 個に応じたきめ細やかな指導を充実させるために、引き続き、2学期制や土曜日授業を活用し、習熟度に合わせた指導が行えるよう授業時数を確保した。また、町費の学習支援員等を配置し、きめ細やかな指導を展開することができた。英語検定の受検助成を拡大し、中学校3年生に全額補助することで、受験者数も増加し、英語に対する意欲の向上が図られた。ICTを活用した多様な授業展開に関しては、一人一台整備されたパソコン端末を全ての教科で活用しながら、子供たちが主体的に学習に取り組む姿が多くみられた。</p> <p>○ 幼保・小・中のなめらかな接続を行うために、就学支援員会での情報交換、各学校で実施する連絡会、小学校間の連携（小小連携）の授業等を充実させた。小学校間の連携では、コロナ禍で制限はあったが、年度当初に計画を作成し、オンラインを活用するなど、工夫しながら活発に交流を図ることができた。</p> <p>○ 家庭生活・家庭学習の充実を図るために、「家庭生活・家庭学習のすすめ」リーフレット、「より良い学習の進め方」リーフレットを積極的に活用することができた。また、保護者会や学級懇談会でも、リーフレットの説明を行い、児童生徒、保護者、学校の共通理解を図ることができた。</p>	
<p>課題</p>	<p>個に応じたきめ細やかな授業を展開するために、ICTを活用した多様な授業展開のための指導力向上が必要である。幼保・小・中のなめらかな接続をさらにすすめるため、様々な交流を検討していく。家庭生活・家庭学習の充実に向けて、リーフレット等の活用方法を、各種委員会等で検討していく。</p>	
<p>意見・提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じたきめ細やかな指導を充実するために、2学期制や土曜授業日の特色を生かし、授業時間数をしっかりと確保している。町独自の学級編制の実施や町費学習支援員等の配置、ALTの配置、タブレットPCの活用などが大変充実しており、児童生徒の学習内容の定着と学習意欲の向上が期待できる。 	

- 英語検定受験助成の拡大は、受験者数の増加と英語に対する意欲の向上が図られ成果を上げている。
- 小中連携や小中一貫教育の取組は成果を上げているので、今後も継続し、より一層充実していただきたい。
- 家庭学習については、時間の目安を設定し、家庭学習の習慣化を図る取組は良い傾向にあり、今後も継続していただきたい。

B氏

- 外国語活動や外国語の学習の充実を図ることは、児童生徒の将来における進路選択やライフスタイル大きく影響する。英語検定の受検という具体的な目標をもたせ、中学校3年生には、英語検定料の全額を補助し、外国語学習に対する意欲の向上に大変期待できる。
- 越生町は観光地でもあり、インバウンド需要も考えると英語力向上に期待する。
- 幼保・小・中のなめらかな接続は、不登校をゼロにするためにも大変重要である。オンラインをさらに活用し、三校の良さを生かした連携を一層すすめていただきたい。
- 学校を参観する機会があったが、ICTを活用した多様な授業展開であった。タブレットを筆記用具としても使いこなし、生徒自身が主体的な学習の取り組みをおこなう姿に、感心した。タブレットの有効活用を今後もお願いしたい。

(2) 豊かな情操と健やかな心身の育成

基本目標	I 学校教育の充実		総合評価
重点施策	(2) 豊かな情操と健やかな心身の育成		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育、人権教育の充実 ○ 食育教育の充実 ○ 心身ともに健康でたくましい児童・生徒の育成 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別の教科である道徳を中心とした道徳教育を展開し、全ての教育活動を通じて道徳的実践を促す指導を充実する。 ・ いじめを許さない意識の醸成と人権を尊重した教育を推進する。 ・ 義務教育9年間を見通した継続的な生徒指導を実践し、不登校やいじめ等の問題行動の解消に向け、適応指導教室の活用や、スクールカウンセラー、さわやか相談員及びスクールソーシャルワーカー等、関係諸機関との連携を強化し取り組む。 ・ 小学校の低学年・中学年・高学年、中学校の各学年など、それぞれの発達の段階に応じた情報モラルに関して、自ら考え、自他を守る力を育む教育を推進する。 ・ 越生町ならではの地域の教育力を活用した特色ある体験活動に取り組み、創造力を育む。 ・ 自校給食の特性を生かし、地産地消を進め、地域への関心を高める。 ・ 学校給食を核に家庭や地域と連携して望ましい食習慣の確立を図り、食育を推進する。 ・ 体力の向上を目指し、たくましさや粘り強さを養う学校体育活動を推進する。 ・ 生活習慣の改善や課題に向けた取組の強化を図り、健康の保持増進を目指した学校体育活動を推進する。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	いじめの解消率	小学校・・・63.2% 中学校・・・100%	
	不登校数等	小学校・・・1名 0.1% ※ 前年度 1名 中学校・・・14名 6.5% ※ 前年度10名	
	給食の地場産物の活用状況調査 (11月実施)	28.9% ※ R3・・・26.0% R2・・・29.2% R1・・・32.4%	
	新体力テストの結果	新体力テスト総合得点 小学校：50.7 (県平均48.2) 中学校：47.6 (県平均46.6) ※ 前年度 小学校：50.8 (県平均47.5) 中学校：50.6 (県平均47.1)	

	<p>朝ご飯を毎日食べている割合</p>	<p>小1・・・96.3%、小2・・・100% 小3・・・94.1%、小4・・・93.4% 小5・・・93.3%、小6・・・88.2% 中1・・・93.4%、中2・・・90.1% 中3・・・96.4%、全体 93.9%</p> <p>※ 前年度 小1・・・96.1%、小2・・・91.0% 小3・・・95.0%、小4・・・97.0% 小5・・・91.2%、小6・・・89.5% 中1・・・93.8%、中2・・・88.8% 中3・・・95.9%、全体 93.2%</p>
	<p>リーフレットで示す睡眠時間の目安以上の睡眠について、「いつもとっている」+「だいたいとっている」の割合</p> <p>※ 睡眠時間の目安 小1～小4・・・9時間 小5、小6・・・8時間 中1～中3・・・7時間30分</p>	<p>小1・・・78.2%、小2・・・91.8% 小3・・・83.6%、小4・・・84.2% 小5・・・90.5%、小6・・・73.6% 中1・・・78.7%、中2・・・62.3% 中3・・・49.2%、全体 76.9%</p> <p>※ 前年度 小1・・・94.2%、小2・・・82.1% 小3・・・92.5%、小4・・・89.5% 小5・・・83.8%、小6・・・77.6% 中1・・・73.5%、中2・・・76.2% 中3・・・52.0%、全体 79.3%</p>
<p>成果の概要</p>	<p>○ 道徳教育、人権教育を充実させるために、各学校とも、道徳授業を核として、学校行事や部活動、体験活動等、学校教育活動全体を通して取り組むことができた。また、いじめや不登校等の問題行動の対応としては、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員、適応指導教室指導員等を活用し、教育相談体制の充実を図ることができた。</p> <p>○ 食育教育を充実させるために、学校給食を中心に食育教育を進めることができた。令和4年12月に実施された「第17回全国学校給食甲子園」では、参加校1249校の中から準優勝を果たし、栄養教諭と調理員のチームワークと越生町の特色ある給食が全国に認められ、食育を推進することができた。</p> <p>○ 心身ともに健康でたくましい児童・生徒の育成のために、体育活動を中心に、生活習慣の改善や課題に向けた取組の強化を図った。新体力テストは、小中学校共に県平均を上回ることができた。</p>	

<p>課題</p>	<p>不登校児童生徒の状況は、全国と同様に越生町においても微増傾向にあり、課題となっている。児童生徒の体力については、小中学校共に県平均は上回っているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、児童生徒の生活様式や運動習慣が変わり体力値の低下がみられるので、運動好きの児童生徒の育成が必要である。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育や人権教育、様々な体験活動、積極的な生徒指導を通して児童生徒の豊かな心を育てている様子がうかがえる。特に、授業の中で自己肯定感を高める取り組みをお願いしたい。 ・ 不登校やいじめ等の問題行動の解消は、喫緊の課題となっている。関係諸機関と連携して、不登校ゼロを目指して粘り強く取り組んでいただきたい。 ・ 学校給食の取組が充実しており、成果を上げている。地場産物の活用をさらに進めていただきたい。 ・ 新体力テスト、生活習慣のアンケート結果は良い傾向にあり、学力と同様に、小中一貫の教育を今後も継続していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導、教育相談の充実がうかがえる。コロナ禍という影響があるが、今後も不登校対策に粘り強く取り組み、支援を続けていただきたい。 ・ 「第17回 全国学校給食甲子園」における準優勝は、児童・生徒の誇りでもあり、地域の誇りでもある。食は、全ての基盤となる。食育の推進の成果は、素晴らしい。 ・ 新体力テストの県平均を上回っており、「健康でたくましい児童・生徒の育成」に繋がっている。学校の体育活動の取組強化の成果がうかがわれる。さらに、家庭、地域との連携により、運動好きの児童・生徒の育成に繋がっていただきたい。

(3) 学習環境の整備・充実

基本目標	I 学校教育の充実		総合評価
重点施策	(3) 学習環境の整備・充実		A
重点施策の主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心な環境整備 ○ 教育機器の整備・充実 ○ 学校図書館の整備 ○ 地域教材の活用 		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全・安心で快適な学校を目指し、施設・設備の計画的な改修を図る。 ・ ICTを活用した情報活用能力の育成のための環境を計画的に整備する。 ・ 小学校の段階から外国語教育のさらなる充実を図るため、小・中学校に常駐のALTを配置する。 ・ 学校図書館と町立図書館の連携が図れる整備をすすめていく。 ・ 各地区の育成会等と連携した長期休業中の学習の場の設定や充実を図る。 		
指標と実績	指標	実績	
	令和4年度の主な工事等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館照明 LED 化工事（越生小） ・ 放送室放送設備修繕（越生小） ・ 体育館照明 LED 化工事（梅園小） ・ グラウンドバックネット等修繕（梅園小） ・ 自動水栓化修繕（梅園小） ・ 体育館照明 LED 化工事（越生中） ・ プール排水漏水修繕工事（越生中） 	
	越生町子ども未来大学の実施状況	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止	
	サマースクールの実施状況	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止	
成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心な環境整備を行うために、新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を活用し、町内3校体育館照明をLEDにした。LED化することで、照明の切り替えがスムーズになったり、電球交換の負担が減ったり、光熱費も抑えられ環境にも配慮することができた。 ○ 教育機器の整備・充実を図るために、各校に設置していたサーバを役場庁舎内に移動し再構築することでセキュリティを強化することができた。また、3校共有フォルダを作成し、データ共有のスリム化を図った。 ○ 学校図書館の整備を図るために、学校図書館と町立図書館の連携を図り、町立図書館から各学校へ図書貸し出しを行った。 ○ 地域教材の活用を図るために、例年、町内の5ヶ所を設定し、地域の育成会や大 		

	<p>学生に講師を依頼して実施していたサマースクールや、越生町ならではの教育資源を活用した学びの場である越生子ども未来大学は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み中止とした。</p>
<p>課題</p>	<p>老朽化に伴う施設・設備の計画的な整備が必要であり、今後も、各校との情報交換や実態把握を適切に行い、教育委員会施策や予算との兼ね合いから施設の改修計画を検討していく。また、貴重な学習の場であったサマースクール、子ども未来大学は実施できなかったが、地域教材の活用が図られるように、今後も準備を継続していく。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習環境の整備は他市町村よりも充実していると思われる。老朽化に伴う施設・設備の整備については、今後も計画的に進めていただきたい。 ・ 教育機器の整備・充実については、計画的に整備されてきているので 有効活用をお願いしたい。 ・ 学校図書館と町立図書館の連携は良いことである。読書好きの児童生徒を増やして欲しい。 ・ サマースクール、子ども未来大学の取組は、素晴らしい取組である。現在、新型コロナウイルスの影響で中止となっているのが残念である。今後も準備を継続していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の広い敷地をきれいに環境整備しており、関係者の努力がうかがえる。老朽化に伴う施設・整備の計画的な整備をすすめていただいているところだが、経年劣化から、修繕の必要性も見られる。未来の子どもたちのために、是非整備を進めていただくようお願いしたい。 ・ 三校共有フォルダの作成は、教師にも児童・生徒にとっても有益なことである。データ共有をおこなうことで教職員の働き方改革にも繋がる。データは、財産であり、有効活用いただきたい。 ・ 体育館は、児童・生徒だけのものではなく、町民も使用している。自然災害時には、たくさんの町民が活用することになる。照明のLED化は、町民にとっても有益である。学校は避難所にもなっているので、幅広い観点から、引き続き環境整備をお願いしたい。

(4) 教職員の指導力向上

基本目標	I 学校教育の充実		総合評価
重点施策	(4) 教職員の指導力向上		A
重点施策の主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修の充実 ○ 町費職員等の活用促進 ○ 小中一貫教育の推進 ○ 人事交流の活性化 		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師一人一人が、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び等の視点を取り入れた授業が実践できる指導力を身に付ける。 ・ ICTを活用した授業を実践するための研修を充実する。 ・ 全教職員を対象に3校合同研修会を実施し、テーマに沿った研修を実施する。 ・ 3校が、「知・徳・体」の9年間を見通した小中一貫教育を推進するために連携を図る。 ・ 越生小学校と梅園小学校との合同行事や合同授業の取組を行い、お互いのよさを生かした小小連携を一層推進し、義務教育9年間の一貫した教育を推進する。(再掲) ・ 本町の課題等を近隣市町村と情報共有し、課題解決のための積極的な人事交流を図る。 		
指標と実績	指標	実績	
	学校指導訪問の実施回数	小学校・・・各6回 中学校・・・6回	
	ICT活用に関わる研修の実施回数	小学校・・・2回 中学校・・・2回	
	小中一貫教育に関わる委員会(学力向上推進委員会、生徒指導委員会、体力向上推進委員会)の実施回数	年間9回	
	3校合同研修会の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同和問題に関する研修 	
成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修の充実を図るために、越生小学校、越生中学校では、西部教育事務所及び近隣市町より指導者を招聘し、指導訪問を実施した。梅園小学校では、西部教育事務所より、指導者を招聘し、「主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善、ICTを活用した授業展開、特別な配慮を必要とする児童への具体的な対策について」の支援訪問を実施した。 ○ 町費職員等の活用促進を図るために、各学校の実態や発達段階に応じて、教科担当教員が様々な指導法の実践が可能となるように適材適所の配置を行うことができた。 ○ 小中一貫教育の推進を図るために、小中一貫教育に関わる委員会(学力向上推進委員会、生徒指導委員会、体力向上推進委員会)において、小学校、中学校での学 		

	<p>習指導、生徒指導等に連続性を持たせるよう「越生町小中一貫教育のリーフレット」を活用して、目指す越生町の子供像を共有した。リーフレットで示す「家庭学習時間の目安」、「睡眠時間の目安」をアンケート結果から分析し、改善のための啓発を行うことができた。</p> <p>○ 人事交流の活性化を図るために、入間北部教育委員会連絡協議会を中心に情報交換を行い、越生町の課題に即した積極的な人事異動を実現した。</p>
<p>課題</p>	<p>ICT活用において、活用の幅は広がってきているが、活用能力については依然として個人差がある。</p> <p>教職員の指導力向上に向けて、研修の機会の確保が必要となるが、小規模校において、校外での研修機会の確保が難しいため、町内の各種委員会やオンライン等を活用しながら三校で研修内容の共有を図っていく。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の指導力向上のため、研修がしっかりと行われていることは良いことである。研修により、児童生徒の学力や体力、豊かな人間性の育成に大きな成果を上げることが期待される。今後も教職員の指導力向上のため、学校での地道な実践と、教育委員会による指導支援に努めていただきたい。また、経験者研修にも力を注いでいただきたい。また、今日的課題の研修と共に、不易の部分である、使命感、専門性、人間性のある教職員の資質の向上に努めていただきたい。 ・ 小中一貫教育の推進を図るために、学力向上委員会、生徒指導委員会、体力向上推進委員会が機能し、成果を上げていることは良いことである。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員指導力向上に向けて、具体的な指導実績を積み上げている。特別な支援が必要な児童・生徒も増えており、特別支援教育も含めた教職員一人ひとりの指導力向上のため、引き続き尽力願いたい。 ・ コロナ禍以降、オンライン研修が恒常化している。小規模校だからこそ、オンライン研修の利点をさらに生かした研修の充実を図っていただきたい。

Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上

(1) 学校運営協議会制度の導入

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(1) 学校運営協議会制度の導入		A
重点施策の主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・地域の連携・協働の強化 ○ 小中一貫教育の推進 		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの取組を継承しつつ、学校・家庭・地域がさらに一体となった教育を実現するための組織づくりに努める。 ・ 学校運営協議会と越生町小中学校連合PTAの連携のとれた活動を推進する。 		
指標と実績	指標	実績	
	学校運営協議会の実施状況	越生小学校 6/4、11/12、3/1・・・計3回 梅園小学校 6/21、11/22、2/24・・・計3回 越生中学校 6/24、10/29、3/17・・・計3回	
成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校・地域の連携・協働の強化を図るために、学校運営協議会を開催し、学校行事や授業の参観、学校評価の結果を通して地域、保護者の立場からの様々な意見を聴取することができた。また、本町の課題となる、児童・生徒数推移についても総合的な観点から意見をいただくことができた。また、二学期制について、二学期制継続検証委員会を設置し調査審議を行った。 ○ 小中一貫教育の推進を図るために、越生町小中学校連合PTAの活動を支援し、意見要望を聴取し、改善に向け取り組むことができた。 		
課題	学校運営協議会の協議内容の充実が図られるよう、各学校の課題を明確にし、地域人材を活用し、学校を核とした地域づくりを進めていきたい。また、小中一貫教育を意識し、町全体の課題についても協議を重ねていきたい。		
意見・提言	A氏 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会制度が本格導入されて4年目。校長は、委員から様々な意見をいただき、学校経営をより充実させることが大切である。当該校や本町の教育課題について意見聴取するなど、内容が充実してきていると思われる。 B氏 <ul style="list-style-type: none"> ・ 越生町小中学校連合PTAや地域と一体になり、総合的にすすめている。 		

(2) 越生町「3つの㊦」の推進

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(2) 越生町「3つの㊦」の推進 ※ 3つの㊦：あいさつ、あしもと、あとしまつ		A
重点施策の主な視点	○ 大人が手本を示すまちづくり ○ 発達の段階に即した「3つの㊦」の推進 ○ 幼保・小・中学校の連携強化		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域が連携し、様々な機会を捉えて「3つの㊦」を励行する。 越生町・越生町教育委員会が推進する「3つの㊦」のリーフレットを活用し、子供の発達の段階に応じた内容を推進する。 新入園児にリーフレットを配布し、「3つの㊦」の啓発を行ったり、幼・保・小・中が「3つの㊦」の視点での共通理解を図ったりすることで、幼・保・小・中の連携を強化する。 		
指標と実績	指標	実績	
	3つの㊦「あいさつ」について、「しっかりとできている」＋「できている」の割合	小1・・・89.1%、小2・・・98.0% 小3・・・97.0%、小4・・・89.5% 小5・・・91.9%、小6・・・94.1% 中1・・・96.7%、中2・・・98.4% 中3・・・100%、 全体 95.0% ※ 前年度 小1・・・92.2%、小2・・・92.5% 小3・・・95.0%、小4・・・97.0% 小5・・・95.6%、小6・・・92.6% 中1・・・98.4%、中2・・・98.4% 中3・・・100%、 全体 95.8%	
	3つの㊦「あしもと」について、「しっかりとできている」＋「できている」の割合	小1・・・96.4%、小2・・・87.8% 小3・・・92.6%、小4・・・94.8% 小5・・・90.5%、小6・・・92.7% 中1・・・100%、中2・・・95.1% 中3・・・94.7%、 全体 93.8% ※ 前年度 小1・・・94.1%、小2・・・95.5% 小3・・・85.0%、小4・・・98.5% 小5・・・88.3%、小6・・・92.6% 中1・・・93.8%、中2・・・96.8% 中3・・・100%、 全体 93.7%	

	<p>3つの㊦「あとしまつ」について、「しっかりできている」＋「できている」の割合</p>	<p>小1・・・96.3%、小2・・・93.9% 小3・・・86.6%、小4・・・92.1% 小5・・・91.9%、小6・・・92.6% 中1・・・98.3%、中2・・・95.0% 中3・・・93.0%、全体 93.3%</p> <p>※ 前年度 小1・・・94.2%、小2・・・89.6% 小3・・・95.1%、小4・・・92.5% 小5・・・83.8%、小6・・・86.5% 中1・・・89.1%、中2・・・85.1% 中3・・・98.7%、全体 91.3%</p>
<p>成果の概要</p>	<p>○ 大人が手本を示すまちづくりを推進するために、越生町・越生町教育委員会が推進する「3つの㊦」のポスターや、家庭学習・家庭生活のすすめリーフレットの活用について、保護者会等で説明を行った。</p> <p>○ 発達の段階に即した「3つの㊦」の推進するために、「家庭学習・家庭生活のすすめリーフレット」を、保護者会等で積極的に活用し、啓発を行うことができた。アンケート結果より、「あいさつ、あしもと、あとしまつ」ともによい傾向にあると言える。</p> <p>○ 幼保・小・中学校の連携強化を図るために、町内の幼稚園、保育園の新入園児の保護者へ「3つの㊦」のポスターを配布し、「3つの㊦」の啓発を行った。</p>	
<p>課題</p>	<p>平成17年度より、3つの㊦運動が展開され、越生町教育委員会では、様々な啓発活動を行ってきた。越生町の3つの㊦は、日頃の生活の中で心がける基本的な事項である。3つの㊦を学校教育活動全体を通して意識しながら取り組み、すべての子供たちが当たり前のように実践できるよう継続して啓発を行っていく。</p>	
<p>意見・提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> 「3つの㊦」の取組は、全体的に高い達成率を示している。平成17年度より継続して取り組んでいる成果と言える。日常生活の中で基本的事項である越生町「3つの㊦」の取組を、今後も学校・家庭・地域と連携し、推進していただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> 越生町教育委員会の啓発活動は、素晴らしい。特に子供たちの生き生きとした姿は、家庭・地域にも効果は派生している。越生中学校の横を通ると、生徒がいつも大きな声で「あいさつ」をしてくれる。高齢者の多い越生町だが、子供たちの元気なあいさつは、元気な、町づくりに繁っている。 	

(3) 学校応援団活動の推進

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(3) 学校応援団活動の推進		B
重点施策の主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校のニーズに応える学校応援団活動の支援 ○ 越生町の人的資源の活用 ○ 児童・生徒の体験活動等の充実 		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアとして学校への協力・支援を行う保護者・地域の力を応援する。 ・ 学校応援団活動を活用し、登下校の安全確保や学習のための環境整備を図り、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する。 ・ 越生町ならではの地域の教育力を活用した特色ある体験活動に取り組み、創造力を育む。(再掲) 		
指標と実績	指標	実績	
	学校応援団の推進に係る教育委員会としての取組(学校応援団の推進に係る調査11項目中)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会・教頭会などでの情報提供 ・ 学校応援団推進のための、関係者会議を実施 ・ 広報誌などによる普及・啓発 ・ ボランティア登録をするなど、市町村独自の人材バンクの活用 	
成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校のニーズに応える学校応援団活動の支援を行うために、町長・教育長との意見交換会を実施し、各校のPTAから要望を聴取した。 ○ 越生町の人的資源の活用を図るために、登下校の見守り活動を充実させた。特に、総務課と連携し、交通指導員や見守りボランティアの方々と協力して登下校の安全確保を図ることができた。また、中学校の武道の授業を、町体育協会空手道部に指導いただき、コロナ禍でも子供たちの学びを止めずに実施することができた。 ○ 児童・生徒の体験活動等の充実を図るために、梅もぎ、梅干しづくり、学校ファームの活動を支援する人材の紹介や体験活動の協力を行った。 		
課題	<p>学校・家庭・地域が一体となった教育を推進するために、今後も学校のニーズに合わせた連携の支援を行う。特に、登下校の見守り活動の他にも学校・家庭・地域が一体となった教育を推進するための支援策を充実させたい。また、学校運営協議会と連携した支援策の検討を行いたい。</p>		
意見・提言	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校では、学習や体験活動、環境整備の支援など学校応援団活動が、家庭や地域の協力のもと盛んに行われている。登下校の見守り活動もよく行われている。人材バンクの活用がさらに推進されると良い。人的、物的、関係者会議などの支援を通して、学校応援団活動を推進していただきたい。また、学校運営協議会と連携した 		

支援も推進していただきたい。

B氏

- ・ 学校・家庭・地域が一体となり、登下校の見守り活動がよく行われている。
また、越生町ならではの地域の教育力を生かした特色ある体験活動「梅もぎ」や「梅干しづくり」は、子どもたちの心に一生残る素晴らしい活動である。

(4) 家庭教育支援体制の充実

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(4) 家庭教育支援体制の充実		B
重点施策の主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭の教育力向上への支援 ○ 「親の学習」の推進 ○ 教育に関する相談体制の充実 		
重点施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「家庭生活・家庭学習のすすめ」「より良い学習の進め方」のリーフレットを活用し、学校と家庭が協力して児童生徒の基本的な生活習慣や家庭学習習慣を身に付けさせる。 ・ 越生子ども未来大学及びサマースクールを実施し、地域の教育力を生かした越生町ならではの学びの場をさらに充実させる。 ・ 家庭教育アドバイザーの活用、民生・児童委員との連携、保護者会の工夫等により、発達の段階に応じた「親の学習」の機会を増やし、家庭教育の充実を推進する。 ・ スクールソーシャルワーカーを配置し、家庭の相談体制を構築する。 		
指標と実績	指標	実績	
	越生子ども未来大学及びサマースクールの実施状況	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	
	家庭教育学級の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 越生小学校 計2回 ハーバリウム教室 7/9 27名 簡単エアロビ 2/18 19名 ・ 梅園小学校 計2回 子どものための足育 7/1 30名 救命講習 12/14 20名 ・ 越生中学校 計1回 サンドブラスト体験講習会 1/14 22名 	
	スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問回数	124回 ※ 前年度…62回	
成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭の教育力向上への支援を行うために、リーフレットを使って保護者会や学級懇談会で説明したり、家庭生活・家庭学習に関するアンケートを分析したりして、望ましい生活習慣について示した。 ○ 「親の学習」の推進を図るために、学校に家庭教育アドバイザー派遣についての紹介や就学時検診の際、小学校で実施している家庭教育学級開催の支援を行った。 ○ 教育に関する相談体制の充実を図るために、スクールソーシャルワーカーを配置し、家庭への支援を行った。訪問回数は大幅に増加し、支援体制が整ってきている。 		

<p>課題</p>	<p>子供たちの健全育成には、学校・家庭・地域との共通理解を図ることが大切である。コロナ禍で研修の機会等が減少したが、子育てと教育のまちに相応しい充実した家庭教育支援が必要である。</p> <p>3年間、越生子ども未来大学及びサマースクールを実施することができなかったため、それらを補うための支援体制の充実が求められる。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の原点は家庭にあるわけであるが、保護者の価値観が多様化している。今後、ますます家庭教育支援体制の充実を図る必要がある。 ・ 「家庭生活・家庭学習のすすめ」「より良い学習の進め方」のリーフレットの活用は、学校と家庭が協力して行うことにより、成果を上げているので、今後も継続して取り組んでいただきたい。 ・ スクールソーシャルワーカーの家庭訪問回数が大幅に増加し、支援体制が整ってきていることは良いことである。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問、支援が充実している。家庭への相談、支援体制が充実し、学校への信頼も上がっている。 ・ 「家庭生活、家庭学習のすすめ」「より良い学習の進め方」のリーフレット活用は、重要である。学習の重要性の発信を根気強く継続していただきたい。 ・ 家庭教育学級において『食育』にも取り組み、食の重要性の発信を含め、幅広い家庭への教育力向上への支援がおこなわれている。

(5) 安全・安心な町づくり

基本目標	Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上		総合評価
重点施策	(5) 安全・安心な町づくり		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒の安全・安心な登校・下校への支援 ○ 学校・家庭・地域の連携強化 ○ 被害を未然に防ぐ体制づくり 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学時の安全確保のため、中学生の自転車通学者はヘルメットを着用する。また、小・中学生とも家庭で自転車に乗る際にも、ヘルメットを着用することを奨励する。 ・ 保護者会などを活用し、親子で情報モラルについての考える機会を与え、実践力を養う。 ・ 「地域学校安全指導員（スクールガードリーダー）」、「町内の防犯団体」、「見守り隊（ボランティア）」、「子ども110番の家」などと連携・協力し、児童生徒の安全を確保する。 ・ 通学路の危険箇所を点検し、関係各課と連携を図りながら安全を確保する。 ・ 学校や学年ごとに送信できる「一斉メール配信」を活用し、防犯情報等を適時適切に配信し、保護者等に周知する。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	スクールガードリーダー配置人数・活動回数	越生小学校・・・1名・418回 梅園小学校・・・1名・210回	
	子ども110番の家の指定状況	106軒 ※ 前年度111軒	
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒の安全・安心な登校・下校への支援を行うために、スクールガードリーダーを委嘱している。自転車用ヘルメットを小学校卒業生に贈呈し、中学校での自転車通学の安全を確保した。また、中学生の自転車通学にかかる傷害総合保険の保険料を町が負担し、全生徒が加入した。 ○ 学校・家庭・地域の連携強化を図るために、総務課と連携し、交通指導員や見守りボランティアの方々と協力して登下校の安全確保を図ることができた。 ○ 被害を未然に防ぐ体制づくりを図るために、PTAや学校から要望を募り、通学路の危険箇所を把握している。把握した箇所は、関係各課と連携を図りながら改善を図り、安全が確保できるようにしている。また、防犯情報や自然災害等について適時適切に保護者に周知できるよう、「一斉メール配信」の機能を充実させた。 		
課題	<p>道路整備による交通量の変化や老朽化してきた標識等、通学路の危険箇所を関係課と連携して、適切に改善していく。SNSトラブルは近年増加傾向にあり、ネット等に潜む危険を回避するために、情報モラルを身につけることは、喫緊の課題となっている。学校・家庭で連携して取り組むだけでなく、効果的な指導方法等を研究していく。</p>		

意見 ・ 提言	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒が安全に登下校できるために、保護者・地域、スクールガードリーダーなどの見守り活動や「子ども 110 番の家」など、地域ぐるみの活動は効果的であり、今後も継続していただきたい。 ・ 児童生徒に情報モラルが身に付くよう、引き続き学校・家庭と連携して取り組んでいただきたい。 ・ 「緊急時連絡メール配信サービス」が整備され、効果的に活用されている。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車用ヘルメットや自転車通学にかかる傷害総合保険の全員加入等、児童・生徒の安全のための計画、実施がされている。また、スクールガードリーダーをはじめ、地域の方々の力で、児童生徒の安全が確保されている。交通事故や被害を未然に防ぐ体制づくりを今後も継続していただきたい。
--------------------	---

Ⅲ 生涯学習の推進

(1) 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進

基本目標	Ⅲ 生涯学習の推進		総合評価
重点施策	(1) 一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化、芸術活動によるコミュニティの推進 ○ スポーツを通じた健康づくりの推進 ○ 文化・スポーツ団体への活動支援 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館等サークル団体の活動を支援するとともに、若年層の利用促進を図る。 ・ 手軽にできるスポーツを通じた健康づくりを推進する。 ・ サークル活動を通じてのボランティア活動を推進する。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	公民館・体育施設等の登録団体数	220団体	
	主要事業の参加者数	<ul style="list-style-type: none"> 子どもおはやし大会： 中止 ラジオ体操実践教室： 81人 町民体育祭： 中止 越生町文化祭： 749人 七つの祝い： 35人 おごせ梅の里コンサート： 185人 越生町人権問題講演会： 108人 二十歳のつどい： 77人 生涯学習町民のつどい： 61人 クリーンハイク： 中止 	
	体育施設の利用者数	30,196人	
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化、芸術活動によるコミュニティの推進を図るために、公民館等を使用する登録団体のうち、町民が過半数以上で構成する団体については、施設使用料を原則免除し、サークル活動の活性化を図った。 ○ スポーツを通じた健康づくりを推進するために、各地区で実施している朝のラジオ体操へ200日以上参加された方を対象に表彰をし、健康維持の促進に努めた。 ○ 文化・スポーツ団体への活動を支援するために、コロナ禍でも町民が安心してサークル活動が楽しめるよう、施設の利用を制限し、利用者全員の体温を記入する「利用者名簿」の提出を求めるなど、安心・安全に努めた。 ○ パークゴルフ場のオープンを4月1日に控え、整備及び準備を進めてきた。オープン前の3月にオープニングセレモニーを挙行することができた。 		

<p>課題</p>	<p>公民館等で活動するサークルは、高齢化により会員数が減少する傾向にある。今後もサークル活動が継続的にできるよう施設の環境整備などを通して、生涯学習の推進に努めていく必要がある。</p> <p>また、スポーツを通じた健康づくりについては、社会構造の変化により年齢と体力に応じた事業を進める必要がある。</p> <p>パークゴルフ場のオープンに伴い、個人だけではなく団体の利用もあるため、団体に対する受付方法を検討する必要がある。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人生を心豊かに過ごすために、「一芸・一スポーツ・一ボランティア」の合言葉は、わかりやすく、実践してみたい言葉として定着している。 ・ 施設使用料の免除、イベント開催、教室・講座の開催、文化・スポーツ団体への活動支援などを通して、生涯学習が推進されている。コロナ禍においても、登録団体数、体育施設の利用者数が増えているのは望ましいことである。 ・ パークゴルフ場全体のオープンに向けた整備及び準備が種々なされてきた。今後、施設を有効に活用するために、パークゴルフの普及と団体育成、施設の維持管理に努めていただきたい。 ・ 少子高齢化により活動への参加の減少が予測される。今後、イベントや公民館活動、スポーツ活動に手軽に参加できるよう、時代のニーズにあった施策が望まれる。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ団体への学校開放や上谷農村公園、越生東いこいの広場等の活動支援を積極的におこなっている。コロナ禍でなかなか活動できなかったゲートボールをおこなう高齢者も、もどりつつある。スポーツを通じた健康づくりのため、パークゴルフ場のオープンは、町にとって有益である

(2) 越生町が誇る歴史文化の継承と活用

基本目標	Ⅲ 生涯学習の推進		総合評価
重点施策	(2) 越生が誇る歴史文化の継承と活用		A
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハイキングのまちと連携した文化財の活用 ○ 郷土の偉人を生かした取組の推進 ○ 文化財の計画的な保護と継承 		
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを利用し、「ハイキングのまちづくり」と連携した文化財の活用を図る。 ・ 身近な文化財や郷土にゆかりある人物の理解を通して、郷土意識への関心を深める。 ・ 文化財の現状を把握し、実態に即した計画的な保存策を講じる。 		
指標 と 実績	指標	実績	
	指定・登録制度を活用した文化財の保護及び文化財保護事業並びに文化財活用・普及事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上谷の大クス枝折れ対策工事事業 ・ 越生町文化財マップ作成事業 ・ 「越生町文化遺産活用事業」 ・ 研修・見学会への協力 	
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財保護事業では、県指定天然記念物「上谷の大クス」枝折れ対策工事を実施した。令和5年2月10日（金）の降雪によって大枝2本が折損、落枝したため、樹木医の診断のもと、残存する大枝の固定や枝葉の軽減剪定、支柱のあて材の交換を行った。 ○ 「越生町文化遺産活用事業」として、文化庁の「地域文化財総合活用推進事業（地域の伝統行事等のための伝承事業）」に、民俗芸能を継承・保存する12団体で応募し、山車や山車飾幕、囃子・獅子舞・里神楽用具の修理・新調事業を行った。 ○ 文化財活用・普及事業では、町の歴史、文化、自然遺産等を紹介する文化財マップ『おごせは町ごと博物館 越生探訪地図』を作成した。 また、越生小3年生の社会科見学等の研修・見学会へ同行し、各文化財についての説明を行った。越生中学校や町民から「おごせまなび亭出前講座」の依頼を受けて、講義を行った。 		
課題	<p>本町には、さまざまな有形無形の文化財があり、先人から受け継いだこれらのかげがえのない自然・歴史文化遺産を後世に伝えることは私たちの責務である。</p> <p>しかしながら、有形文化財の防火防犯、史跡名勝天然記念物の現状維持、無形民俗文化財の保存継承など、いずれの文化財も計画的に適切な施策を講じることが求められている。</p>		
意見 ・ 提言	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハイキングのまちとの連携では、文化財解説板、標柱の整備やICTを活用した文化財の情報発信は、町民の郷土に対する理解と関心を深めるとともに、町を訪れる人に文化財を知っていただく良い機会となっている。 		

- ・ 町内には有形無形の文化財が沢山ある。指定文化財の保護に補助金の交付、修復、環境整備、普及・啓発、ゆかりの人物を通した郷土意識の涵養など、様々な充実した取組を行っている。今年度は、大クス枝折れ対策工事、文化財マップ作成、文化遺産活用事業など大きな成果を上げている。今後も文化財保護行政を推進していただきたい。

B氏

- ・ 県指定天然記念物「上谷の大クス」の保護事業、越生町文化遺産「山車、山車飾幕、囃子、獅子舞、里神楽用具」の修理、新調事業、文化財マップの作成等、自然文化遺産、歴史文化遺産を残すことは、どれも重要である。今後も文化財保護、整備の継続を期待する。

(3) 生涯学習施設の環境整備

基本目標	Ⅲ 生涯学習の推進		総合評価																		
重点施策	(3) 生涯学習施設の環境整備		A																		
重点施策 の 主な視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 梅園コミュニティ館の活性化 ○ 公民館、スポーツ施設の環境整備 ○ 図書館サービスの充実 																				
重点施策 の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梅園コミュニティ館内に開設した「越生町立図書館梅園分室」への配本の充実を図る。 ・ 施設の老朽化に対応した計画的な維持管理に努める。 ・ 町立図書館の蔵書を有効活用し、小中学校図書室との連携を強化する。 ・ 越生駅西口総合案内所での新たな図書館サービスの拡充を図る。 																				
指標 と 実績	指標	実績																			
	公民館等の利用者数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="width: 25%; text-align: center;">令和4年</th> <th style="width: 25%; text-align: center;">(令和3年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央公民館</td> <td style="text-align: center;">1,364人</td> <td style="text-align: center;">(1,157人)</td> </tr> <tr> <td>やまぶき公民館</td> <td style="text-align: center;">11,016人</td> <td style="text-align: center;">(7,769人)</td> </tr> <tr> <td>ゆうがく館</td> <td style="text-align: center;">1,991人</td> <td style="text-align: center;">(834人)</td> </tr> <tr> <td>梅園コミュニティ館</td> <td style="text-align: center;">2,431人</td> <td style="text-align: center;">(902人)</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場</td> <td style="text-align: center;">1,829人</td> <td style="text-align: center;">(2,474人)</td> </tr> </tbody> </table>			令和4年	(令和3年)	中央公民館	1,364人	(1,157人)	やまぶき公民館	11,016人	(7,769人)	ゆうがく館	1,991人	(834人)	梅園コミュニティ館	2,431人	(902人)	パークゴルフ場	1,829人	(2,474人)
	令和4年	(令和3年)																			
中央公民館	1,364人	(1,157人)																			
やまぶき公民館	11,016人	(7,769人)																			
ゆうがく館	1,991人	(834人)																			
梅園コミュニティ館	2,431人	(902人)																			
パークゴルフ場	1,829人	(2,474人)																			
	図書館の利用実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;"></th> <th style="width: 25%; text-align: center;">令和4年</th> <th style="width: 25%; text-align: center;">(令和3年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td style="text-align: center;">11,687人</td> <td style="text-align: center;">(12,376人)</td> </tr> <tr> <td>図書貸出点数</td> <td style="text-align: center;">46,821点</td> <td style="text-align: center;">(48,949点)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">町民一人当たりの</td> </tr> <tr> <td>貸出点数</td> <td style="text-align: center;">3.7点</td> <td style="text-align: center;">(3.9点)</td> </tr> <tr> <td>蔵書点数</td> <td style="text-align: center;">7.9点</td> <td style="text-align: center;">(7.7点)</td> </tr> </tbody> </table>			令和4年	(令和3年)	利用延べ人数	11,687人	(12,376人)	図書貸出点数	46,821点	(48,949点)	町民一人当たりの			貸出点数	3.7点	(3.9点)	蔵書点数	7.9点	(7.7点)
	令和4年	(令和3年)																			
利用延べ人数	11,687人	(12,376人)																			
図書貸出点数	46,821点	(48,949点)																			
町民一人当たりの																					
貸出点数	3.7点	(3.9点)																			
蔵書点数	7.9点	(7.7点)																			
成果 の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 梅園コミュニティ館の入口の修繕やスロープの設置を行い、利用者の安全性向上と環境改善に努めた。 ○ 町立図書館で借り受けた図書を、越生駅西口総合案内所及び梅園コミュニティ館に返却できるサービスを実施した。また、越生駅西口総合案内所には、リサイクル図書コーナーを設置し、図書の有効活用と利用者の利便性に配慮した。 ○ 読書や休憩などに利用できる「緑陰読書スペース」を図書館屋外の南側に設置した。 ○ パークゴルフ場のオープンに向けて、樹木の伐採や駐車場の整備、簡易トイレの設置などの作業を行った。 																				
課題	<p>中央公民館、やまぶき公民館、ゆうがく館、梅園コミュニティ館、図書館は、築30年以上経過しているため、大規模改修や設備の更新時期が到来している。中央公民館、やまぶき公民館、梅園コミュニティ館は、災害時の指定避難所になっていること</p>																				

	<p>から、安全性の確保を含めた早期の対応をする必要がある。</p> <p>図書館の利用促進として、越生町立図書館梅園分室の運営、新規事業の開催等のサービスの充実により、一定の成果が挙げられた。利用者数と貸出点数を維持していくためには、引き続き、図書等資料の充実とともに、新たなサービスにより利用促進に努めていく必要がある。</p> <p>また、越生駅西口総合案内所のリサイクル図書コーナーを通じ、駅利用者に対して図書館のピーアールを図りたい。</p> <p>パークゴルフ場の芝の管理については、専門業者と委託契約を結んでいるが、それ以外の草刈りや除草剤散布について検討する必要がある。</p>
<p>意見 ・ 提言</p>	<p>A氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梅園コミュニティ館の諸事業等により、活用と地域の利便性の向上等、梅園コミュニティ館の活性化が進んでいることは良いことである。 ・ 公民館やスポーツ施設の老朽化に対応した改修や設備の更新を、計画的に実施していただきたい。 ・ 図書館では、梅園分室の運営や小中学校図書館との連携、新規事業の開催等のサービスの充実による利用促進に努め、成果を上げている。越生町西口総合案内所の活用、図書館屋外「緑陰読書スペース」の設置などは、利用者の利便性が考慮されて良い。今後も利用者数、貸出点数の維持・向上に向け、図書等資料やサービスの充実に努めていただきたい。 <p>B氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央公民館、やまぶき公民館、ゆうがく館、梅園コミュニティ館について、利用者が増え、倍増しているところもある。様々な施設の老朽化に対応し、特に梅園コミュニティ館の入口修繕、スロープ設置は、大変よかった。災害時の指定避難所になっている場所においては、早期に改修の対応を願いたい。

5 教育委員会会議等の活動状況

(1) 委員会構成

教育長	教育長 職務代理者	委員	委員	委員
原口 仁	青柳 高	竹内 晴美 ※ 9月30日まで 佐藤 直美 ※ 10月1日から	内藤 久美子	仲 晃良

(2) 会議等の開催

教育委員会会議は、定例会を9回開催し、議案等を審議いたしました。また、首長部局が事務局となる「越生町総合教育会議」を1回開催いたしました。

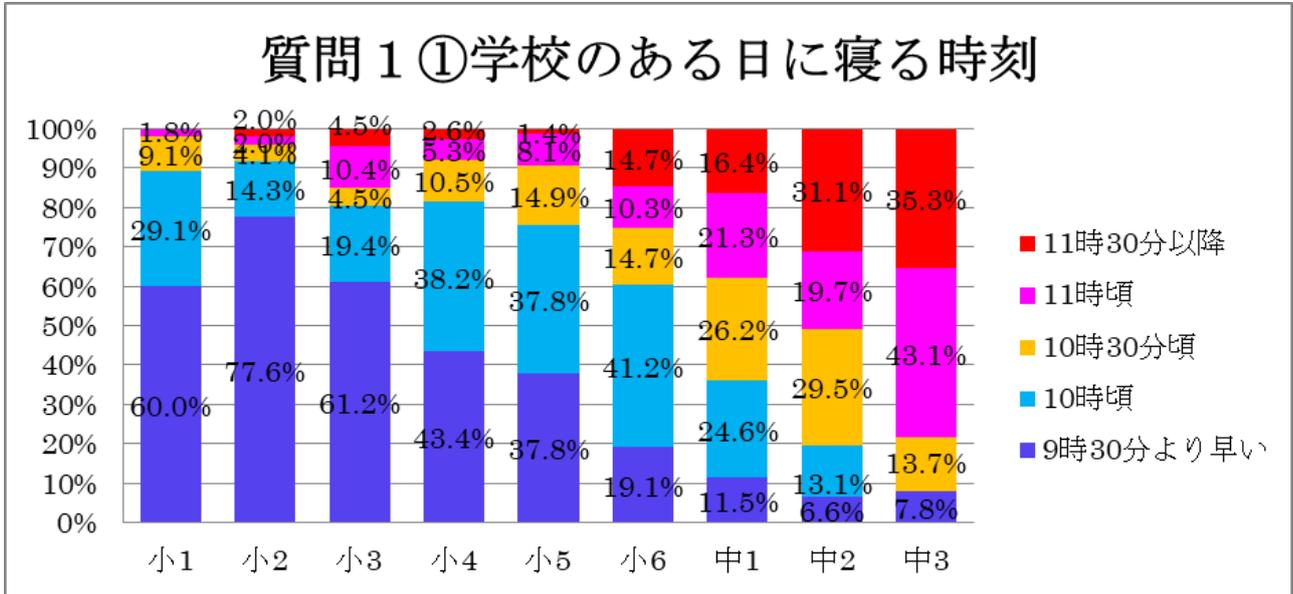
会議・開催日	議案等
令和4年臨時 ・4月14日	議案第6号 越生町文化財保護委員の委嘱について
令和4年第3回 ・5月11日	議案第7号 令和4年度越生町教育委員会教育費補正予算について 承認第3号 「教育要覧おごせ」令和4年度版の発行について 報告第4号 専決処分の報告について
令和4年第4回 ・6月9日	協議第2号 令和4年度越生町教育委員会事務局点検評価報告書 (対象：令和3年度の教育行政施策)について 報告第5号 令和4年第2回(6月)越生町議会定例会について
令和4年第5回 ・7月14日	協議第3号 令和4年度越生町教育委員会事務局点検評価報告書 (対象：令和3年度の教育行政施策)について 承認第4号 越生町教育委員会の後援名義使用について 承認第5号 越生町教育委員会の後援名義使用について
令和4年第6回 ・8月4日	議案第8号 令和4年度越生町教育委員会事務局点検評価報告書 (対象：令和3年度の教育行政施策)について 議案第9号 令和4年度越生町教育委員会教育費補正予算について 議案第10号 令和4年度埼玉県学力・学習状況調査結果及び令和4年度全国学力・学習状況調査結果の公表について
令和4年第7回 ・9月26日	議案第11号 令和5年度当初越生町教職員人事異動方針について 議案第12号 越生町指定文化財の指定について 承認第6号 越生町教育委員会の後援名義使用について 承認第7号 越生町教育委員会の後援名義使用について 報告第6号 専決処分の報告について 報告第7号 令和4年第3回(9月)越生町議会定例会について

令和4年第8回 ・10月11日	承認第8号 越生町教育委員会の後援名義使用について
令和4年第9回 ・11月9日	議案第13号 令和4年度越生町教育委員会教育費補正予算について 議案第14号 越生町パークゴルフ場条例について 協議第4号 令和5年度当初越生町教育委員会教育費予算について
総合教育会議 ・11月9日	越生町の教育施策等について
令和5年第1回 ・2月8日	議案第1号 越生町立小・中学校管理職人事異動案について 議案第2号 越生町パークゴルフ場条例施行規則について 議案第3号 越生町教育委員会事務局組織及び処務に関する規則の一部を改正する規則について 議案第4号 令和4年度越生町教育委員会教育費補正予算について 議案第5号 令和5年度越生町一般会計教育費予算について 協議第1号 令和5年度越生町教育行政重点施策について 承認第1号 越生町教育委員会の後援名義使用について 承認第2号 越生町教育委員会の後援名義使用について 報告第1号 越生町立小・中学校服務規定の一部を改正する規定について 報告第2号 令和4年第4回（12月）越生町議会定例会について
令和5年第2回 ・3月22日	議案第6号 越生町教育行政重点施策について 議案第7号 越生町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則について 承認第3号 越生町教育委員会の後援名義使用について 承認第4号 越生町教育委員会の後援名義使用について 承認第5号 越生町教育委員会の後援名義使用について 報告第3号 令和5年第1回（3月）越生町議会定例会について 報告第4号 就学援助費認定状況について

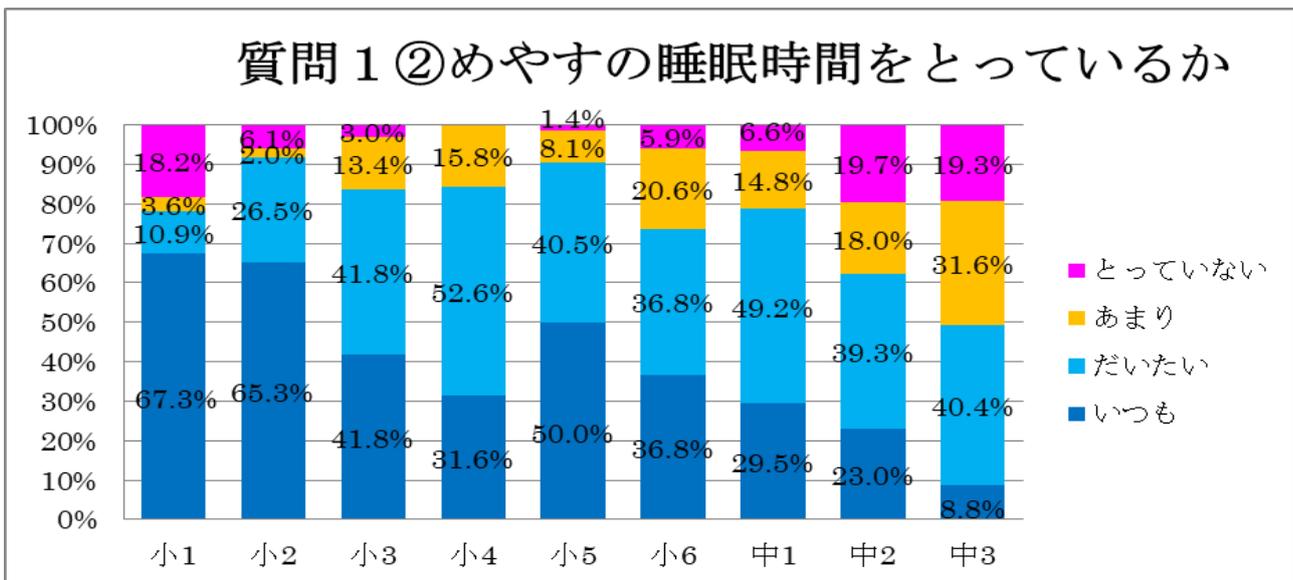
6 (参考資料) 令和4年度「家庭生活・家庭学習・3つの㊟」についてのアンケート集計

1 「早寝」「早起き」「朝ご飯」について

① 学校のある日は、何時ごろに寝ていますか。



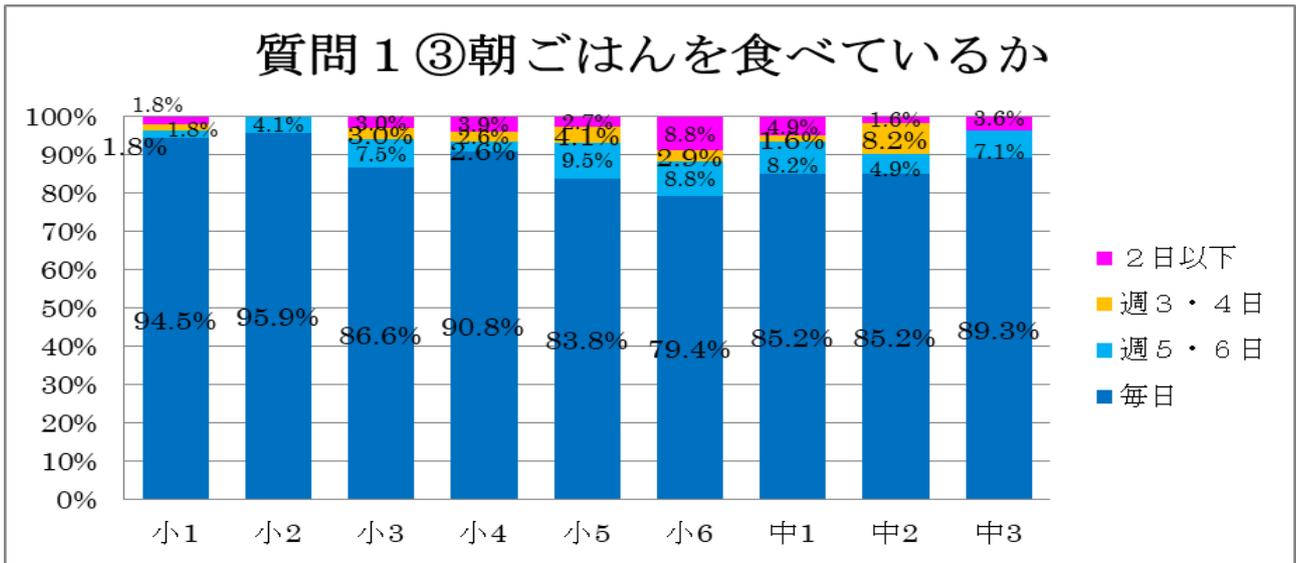
② 学校のある日は、「家庭生活・家庭学習のすすめ」で示した睡眠時間のめやす以上睡眠をとっていますか。



※ 各学年の睡眠のめやす

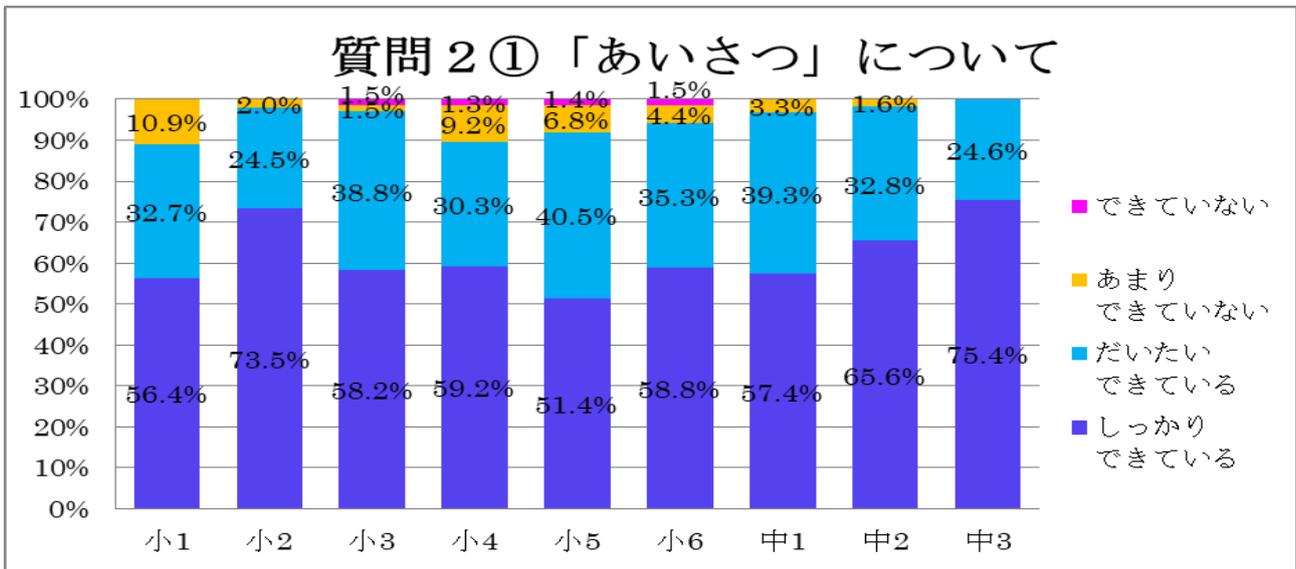
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
9時間				8時間		7時間30分		

③「朝ご飯」をしっかりと食べていますか。

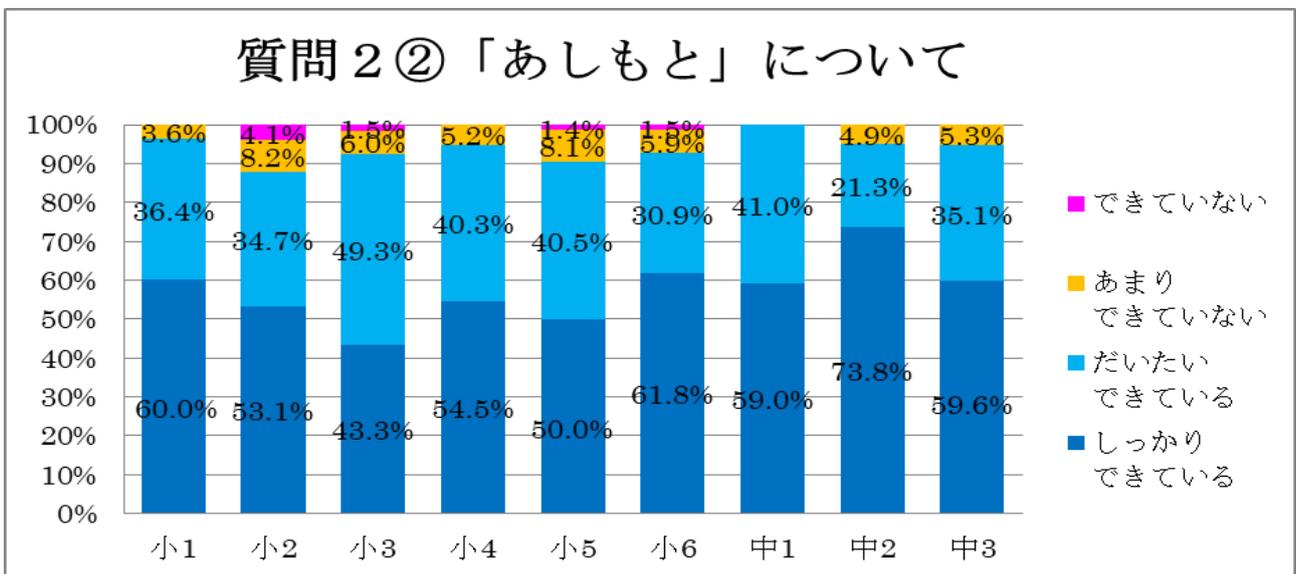


② 「3つの④」について

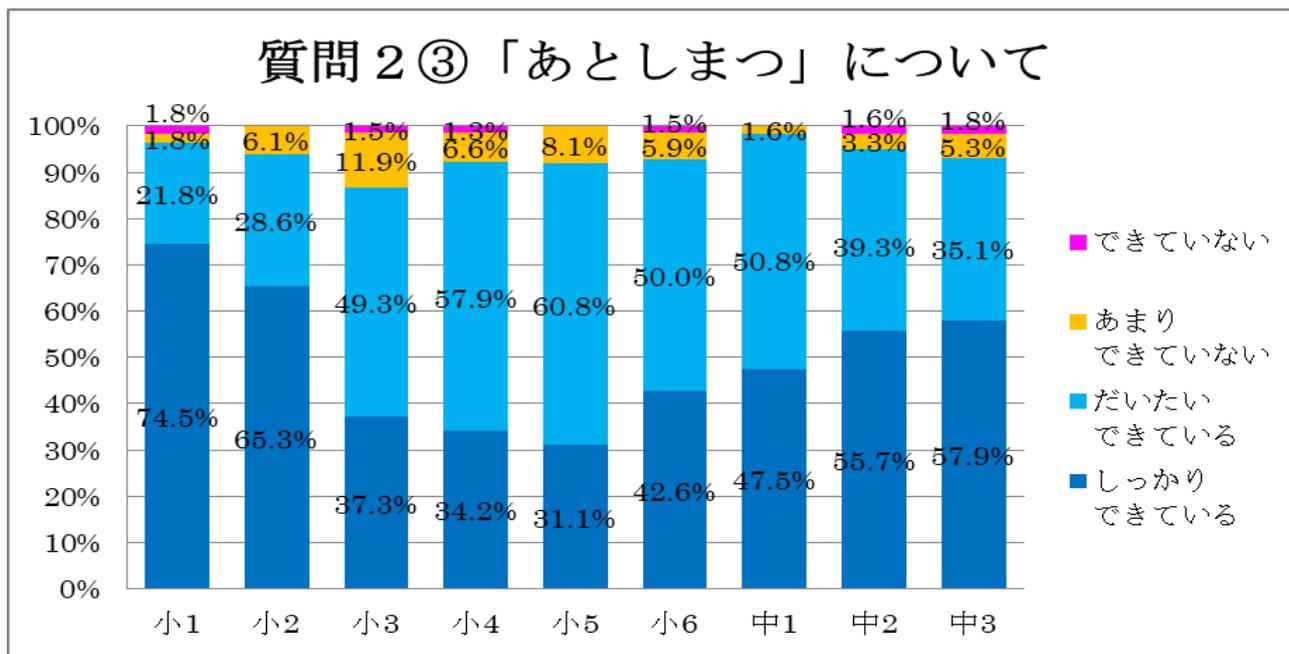
①【あいさつ】心をこめた「あいさつ」をし、友達と仲良く生活できていますか。



②【あしもと】はきものやロッカーの整理整頓をし、けじめある生活をしていますか。



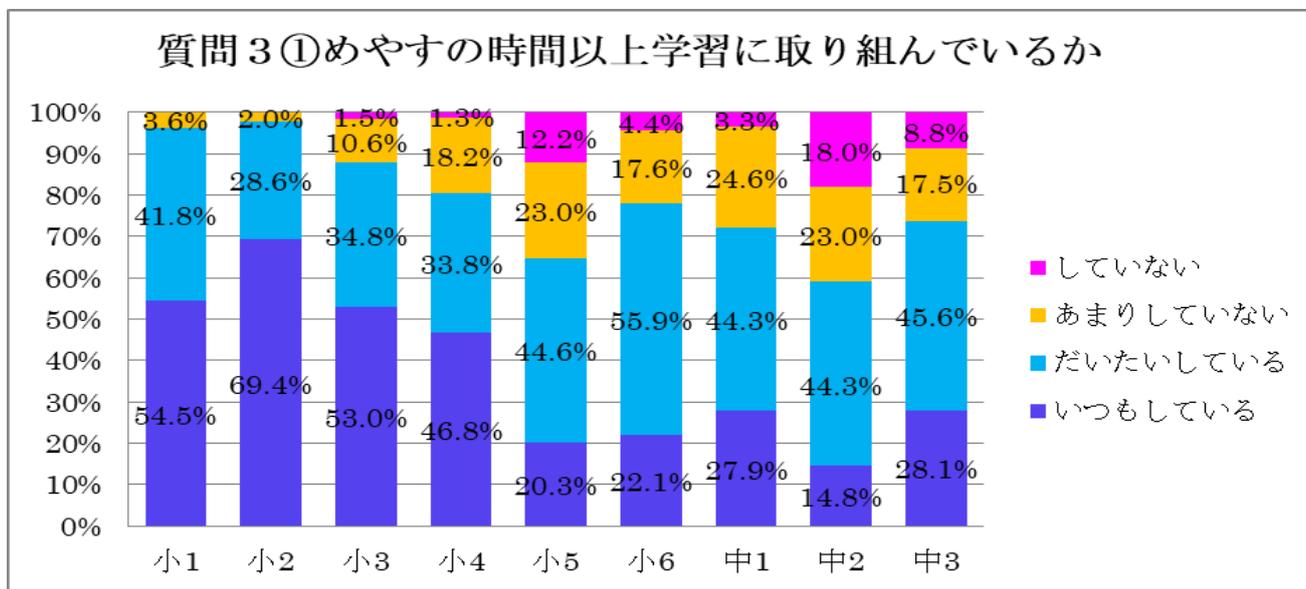
③【あとしまつ】何事も最後までやりとげ、責任もった行動をしていますか。



③ 家で、毎日の勉強について

① 「家庭生活・家庭学習のすすめ」で示した学習のめやす以上学習に取り組んでいますか。

※ 宿題・塾・習い事を含む

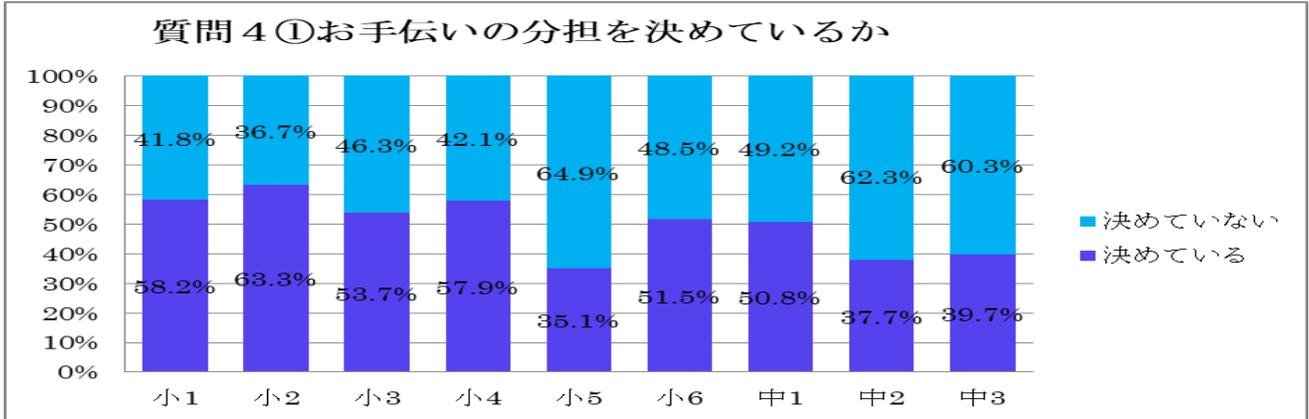


※ 各学年の学習のめやす

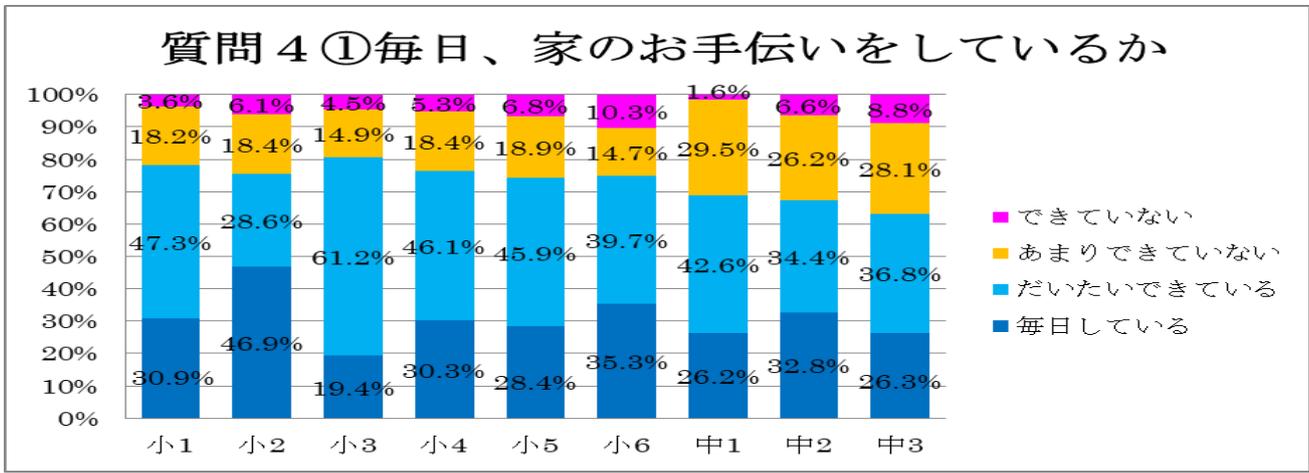
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
15分	20分	30分	40分	50分	60分	60分	90分	120分

4 家のお手伝いについて

① 自分のお手伝いの分担を決めていますか。



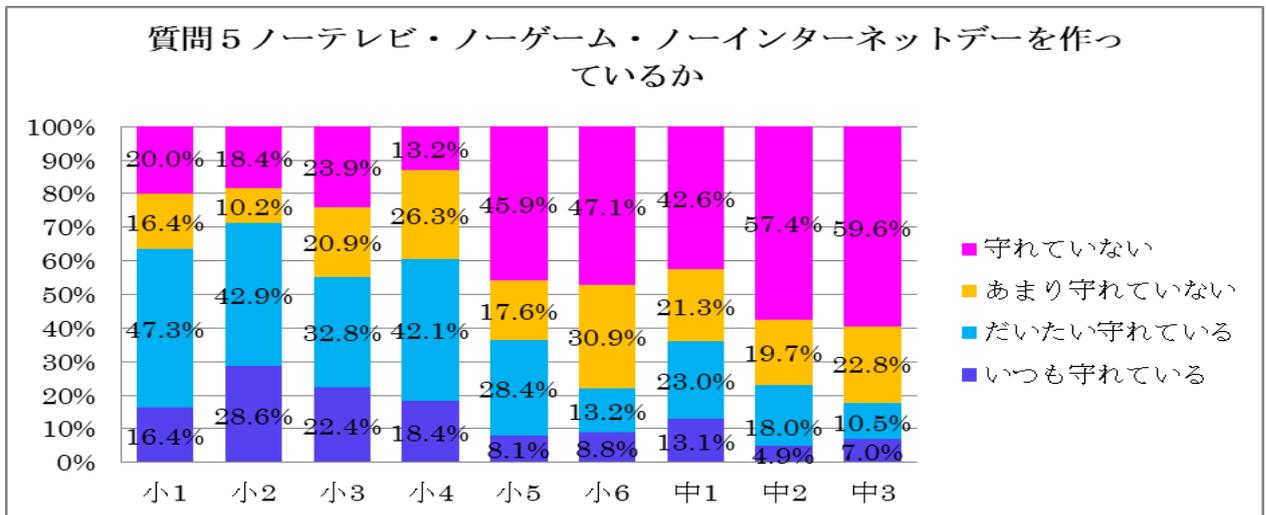
② 毎日、家のお手伝いをしていますか。



5 ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットについて

① 週に1回、ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットデーを作り、守っていますか。

(スマホやタブレットPCなどで動画を見る時間も含まれます。)



令和5年度越生町教育委員会事務局
点検評価報告書

[対象：令和4年度の教育行政施策対象]

令和5年8月

編集・発行

越生町教育委員会

埼玉県入間郡越生町大字越生 917 番地

電話 049-292-3121 (代)

Eメール kyouikul@town.ogose.saitama.jp